おひさまだより

2025.12 月

１２月は、思いのほか暖かい日もあり朝から晴れ渡ると、園庭からは元気のいい声が飛び交います。１２月から、朝の園庭遊びとホール遊びを、学年に分けて遊んでいます。この時期になると体格や動きの速さなどの成長もあり、年長児と年中児、年少児と２歳児など、近い年齢で遊ぶことで、遊びの広がりが生まれます。縄跳び、直線の駆け足の場所では年長、年中さんがお互いに「どうやるの？」と教え合ったり、順番にスターターになり競争ごっこを楽しんでいます。一学年の違いと言えばそれまでですが、見えない壁を自分たちで取り払い遊べる子どもたちにたくましさを感じます。

お困りごとは「わが子を知るために大切なこと」

ご存じの通り、当園には未就園の方向けに「うわまちプチ Club」という月１回の親子でのお遊び会があります。その中で月ごとにテーマを決めて保護者の方同士のおしゃべりタイムを実施しています。「ご飯を食べてくれない」「イヤイヤ期に困っています」「子どもへの声掛けの仕方がわからない」「絵本の選び方、読み方がわからない」など多岐にわたるお話があがります。在園の保護者の方も「今まさに悩んでいる！」方も「そういえば悩んでいた」という方もいらっしゃるでしょう。

皆でおしゃべりすることの良さは、自分の大変さを人に吐露し、お互いに共感できることです。そして、いくら困っていても、幸せなことに子どもはどんどん成長するので、「あれ？もう悩んでいない」「けれどまた違う悩みがでてきた」ということになります。

悩みは子どもが成長するにつれ変化していきます。小さい頃は具体的な育て方（食、睡眠、ぐずりなど）に悩み、次第に言葉による意思の疎通ができるようになり、子どもの社会が広がり始めると人と人との交わり、コミュニケーションについて悩むことが多くなるように思います。しかし、これらの悩みは「わが子を知るため」の必須の過程なのではないかと思っています。子どもが成長するにしたがって「悩みに対する解決の選択肢」が親子共々広げていけるよう、家庭、お友だち、また地域社会との風通しを良くしておけるといいですね。園でもお子様の悩みや成長をたくさん聞かせていただきたいと思います。

年中さんは、縄跳びを始めました。最初は縄に慣れることから。次はグルン！と回してみました。

今日はクリスマス会、先生方から合奏のプレゼント

学期の最後に自分の引き出しをきれいにしました。

年中さんの紙粘土で作ったいれもの「何をいれようかな」

ファミリークラス：「こうやって折って…サンタさん！

今年もいろいろご協力いただきありがとうございました。どうぞ良い年をお迎えください。

©2025 幼保連携型認定こども園うわまち幼稚園長　嶋田むつみ